

JALOS ニュース

Japan Lubricating Oil Society

2024 2月号

「2023年度 保安防災研修会」開催

潤滑油の品質確保事業等への支援事業（資源エネルギー庁補助事業）における人材育成事業の一環として、1月24日（水）にそなエリア東京（東京臨海広域防災公園・東京都江東区）において「2023年度 保安防災研修会」を開催しました。

自由見学およびインストラクターの方による防災体験ツアーを通じ、参加者の方々に貴重な体験をしていただくことができました。

【自由見学】

自助体験コーナー、オペレーションルーム、首都直下地震特設コーナー、事例に学ぶ自助の知恵コーナーなどを見学。



目次

1. 「2023年度 保安防災研修会」開催
2. 「潤滑油サプライチェーンにおける潤滑油含有化学物質の適切な情報伝達に関する研修会」開催
3. JALOS 技術講習会
「初級コース・潤滑油添加剤」開催
4. JALOS 技術講習会
「初級コース・工業用潤滑剤」開催
5. 2023年経済産業省企業活動基本調査（2022年度実績）の結果（速報）について
6. 潤滑油需給統計
7. お知らせ
8. 協会の動き
9. 今後の予定

一般社団法人 潤滑油協会

URL <https://www.jalos.or.jp/>

【防災体験ツアー】

○東京直下 72h TOUR

大地震発生後、国や自治体などの支援体制が十分に整う目安とされている発災後 72 時間について、タブレット端末を用いながらジオラマ内を行動し、生き抜く知恵を身につけることについて学習。

○再現被災市街地



余震が繰り返される駅前の商店街や住宅地などのジオラマを移動し、市街地の危険箇所について確認および体験。

○再現避難場所



再現された避難場所にて生き延びていく方法、および自助、共助の重要性について確認。

「潤滑油サプライチェーンにおける潤滑油含有化学物質の適切な情報伝達に関する研修会」開催

1 月 25 日（木）に、潤滑油の品質確保事業等への支援事業（資源エネルギー庁補助事業）の一環として、潤滑油技術等に携わる人材を育成するために必要な潤滑油関連情報を提供することを目的として、「潤滑油サプライチェーンにおける潤滑油含有化学物質の適切な情報伝達に関する研修会」を航空会館において、一部リモート参加によるハイブリッド形式により開催いたしました。

当日は会員を中心に多数の参加を得て、潤滑油製造業近代化委員会 安全推進分科会 山中分科会長（シェル ルブリカンツ ジャパン株式会社）の開会のご挨拶および大橋委員（ユシロ化学工業株式会社）の進行のもと、2023 年 4 月に一部が施行され、2024 年 4 月にも改正が予定されている、労働安全衛生法施行令に対応すべく、安全推進分科会にて作成中の「潤滑油製品の取り扱いに関するガイダンス（労働安全衛生法）案」の詳細な解説等を中心に、参加者と安全推進分科会委員との意見交換・質疑応答等が行われました。



山中 正樹 氏



大橋 康正 氏

JALOS 技術講習会「初級コース・潤滑油添加剤」開催

1 月 25 日（木）に潤滑剤関係業務において経験 1～3 年程度の方を対象とした、JALOS 技術講習会「初級コース・潤滑油添加剤」を化学会館（東京都千代田区）において開催いたしました。多数の方の参加を得て、講義が行われました。講義の内容については、次のとおりです。

【講義】「潤滑油添加剤の基礎」

講師：シェブロンジャパン株式会社

テクノロジーセンター ドライブライン&ハイドロリクス

理学博士 中川 貴洋 氏

潤滑油にとって、必須といっても過言ではない潤滑油添加剤について、主要な添加剤を中心に「潤滑油添加剤とは」、「潤滑油の組成」、「主な添加剤の分類」、「各種潤滑油の一般的な組成」、「潤滑油添加剤の歴史」、「各種添加剤の機能、種類及び構造等」について詳しく解説。

また、「化学物質の管理」についても解説。さらに、代表的な添加剤について、映像を交えながら説明。



中川 貴洋 氏

JALOS 技術講習会「初級コース・工業用潤滑剤」開催

2024年2月19日（月）及び20日（火）の2日間にわたり、アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）において JALOS 技術講習会「初級コース・工業用潤滑剤」を開催いたしました。多数の方の参加を得て、工業用潤滑剤、金属加工油及びグリースについて、以下の内容についての講義が行われました。

【2月19日（月）】

①「工業用潤滑油と管理」

講師：コスモ石油ルブリカンツ株式会社 商品研究所

工業潤滑油グループ グループ長 山本 邦治 氏

国内における潤滑油販売数量及び推移、潤滑剤の役割にはじまり、潤滑の基礎理論、潤滑油の製造方法及び分類について解説。また、工業用潤滑油の管理として油種毎の特徴、要求性能及び管理方法について解説。さらに潤滑剤に関連する安全衛生・環境保全に係る規則・規制等の解説、及び対策事例について紹介。



山本 邦治 氏

【2月20日（火）】

②「金属加工油と管理」

講師：ユシロ化学工業株式会社 神奈川テクニカルセンター

研究本部 技術統括部 商品技術1部

部長 丹野 幸雄 氏

金属加工の流れや特徴、切削・研削油剤、塑性加工用潤滑剤及びダイキャスト離型剤をはじめとする金属加工油の種類と用途について解説。また切削油剤の基礎として変遷、役割と働き、種類と組成について解説するとともに、切削油剤の管理として劣化要因と対策、日常管理のポイント（関連する試験方法や管理基準）、トラブルシューティングについても解説。さらに切削油剤に求められるものとして、環境負荷低減、高性能化やグローバル対応についても解説。



丹野 幸雄 氏

③「グリースと管理」

講師：協同油脂株式会社 グリース技術部

課長 筒井 大介 氏

＜日本グリース協会 技術委員会推薦＞

はじめにグリースの概要と歴史、グリースの種類と潤滑特性として、組成、ちょう度及び用途による分類、グリースの性質と特徴について解説。またグリースに関連する試験方法について JIS 規格を中心に解説。さらにグリースの製造方法、主な要求性能、一般的な選定基準、適正な使用方法及び劣化過程と交換基準等についても解説。



筒井 大介 氏

2023 年経済産業省企業活動基本調査（2022 年度実績）の結果（速報）について

経済産業省では、我が国企業の経営戦略や産業構造の変化の実態を明らかにし、行政施策の基礎資料を版を 1 月 30 日得るため、「経済産業省企業活動基本調査」を実施しており、2023 年調査結果（2022 年度実績）の速報付で公表しましたのでお知らせいたします。

調査結果（経済産業省企業活動基本調査の対象業種に格付けされた企業：「合計」31,411 社）のポイントは以下のとおりです。

- 一企業当たりの売上高は、前年度比 11.3%増加
- 一企業当たりの経常利益は、前年度比 14.0%増加
- 売上高経常利益率は、前年度差 0.2%ポイント上昇
- 付加価値額は、給与総額等の増加により前年度比 2.8%増加
- 労働分配率は、給与総額の増加率が付加価値額の増加率を下回り前年度差▲0.3%ポイント低下
- 労働生産性は、付加価値額の増加率が常時従業者数の増加率を上回り前年度比 2.3%増加

結果概要

1. 売上高及び利益の状況＜概況図表「1-2」、「2-2」＞

(1) 一企業当たりの売上高は 247.4 億円（前年度比 11.3%増）となりました。

主要産業別で見ると、製造業は 227.3 億円（前年度比 9.7%増）、卸売業は 391.6 億円（同 10.2%増）、小売業は 266.5 億円（同 13.7%増）とそれぞれ増加となりました。

(2) 一企業当たりの経常利益は前年度比 14.0%増加となりました。

主要産業別にみると、製造業は前年度比 5.8%、卸売業は同 38.6%、小売業は同 5.4%とそれぞれ増加となりました。

(3) 売上高経常利益率は前年度差 0.2%ポイント上昇となりました。

主要産業別にみると、製造業は前年度差▲0.3%ポイント低下、卸売業は同 1.2%ポイント上昇、小売業は主要産業別にみると、製造業は前年度差▲0.3%ポイント低下、卸売業は同 1.2%ポイント上昇、小売業は同▲0.3%ポイント低下となりました。

2. 付加価値額と労働分配率及び労働生産性の状況<概況図表「4-1」、「5-1,2」>

(1) 付加価値額は、給与総額等の増加により、前年度比 2.8%増加となりました。

主要産業別にみると、製造業は前年度比 0.0%と横ばい、卸売業は同 7.6%増加、小売業は同 ▲0.6%低下となりました。

(注) 付加価値額 = 営業利益 + 給与総額 + 減価償却費 + 福利厚生費 + 動産・不動産賃借料 + 租税公課

(2) 労働分配率（付加価値額に対しての件費）は、給与総額の増加率が付加価値額の増加率を下回ったことにより、前年度差▲0.3%ポイント低下となりました。

主要産業別にみると、製造業は前年度差 0.6%ポイント上昇、卸売業は同▲2.8%ポイント低下、小売業は同▲0.1%ポイント低下となりました。

(注) 労働分配率とは、付加価値額に対しての件費を示す指標であり、企業が新たに生み出した価値のうちどれだけ件費に分配されたかを示す指標。ここでは、次の算出方法による。

$$\text{労働分配率} = \text{給与総額} \div \text{付加価値額} \times 100$$

(3) 労働生産性（常時従業者一人当たりの付加価値額）は、付加価値額の増加率が常時従業者数の増加率を上回ったことにより、前年度比 2.3%増加となりました。

主要産業別にみると、製造業は前年度比 0.8%、卸売業は同 9.5%、小売業は同 1.6%それぞれ増加となりました。

(注) 労働生産性とは、生産性分析の指標であり、従業者一人当たりの付加価値額を示す指標。ここでは、次の算出方法による。労働生産性 = 付加価値額 ÷ 常時従業者数

経済産業省企業活動基本調査の概要

1. 目的

我が国企業の活動の実態を明らかにし、企業に関する施策の基礎資料を得ることを目的としています。

2. 調査期間・期日

企業数、資本金額又は出資金額、事業組織及び従業者数は「2023年6月1日現在」、それ以外の項目は「最近決算期（最近決算期1年間又は最近決算期末）」としています。

3. 調査対象

(1) 以下に属する事業所を有する企業

鉱業、製造業、電気・ガス業、情報サービス業、卸売・小売業、クレジットカード業・割賦金融業、物品賃貸業（レンタル業を除く）、学術研究、専門・技術サービス業、飲食サービス業、生活関連サービス業など（別表参照）

別表：<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kikatu/gaiyo/pdf/chosahani.pdf>

(2) 従業者 50 人以上かつ資本金（又は出資金）3,000 万円以上の企業

4. 調査対象企業数<2023年調査速報時点>

40,302 社（回収企業数：35,893 社、回収率：89.1%）

詳細につきましては、下記ホームページをご参照下さい。

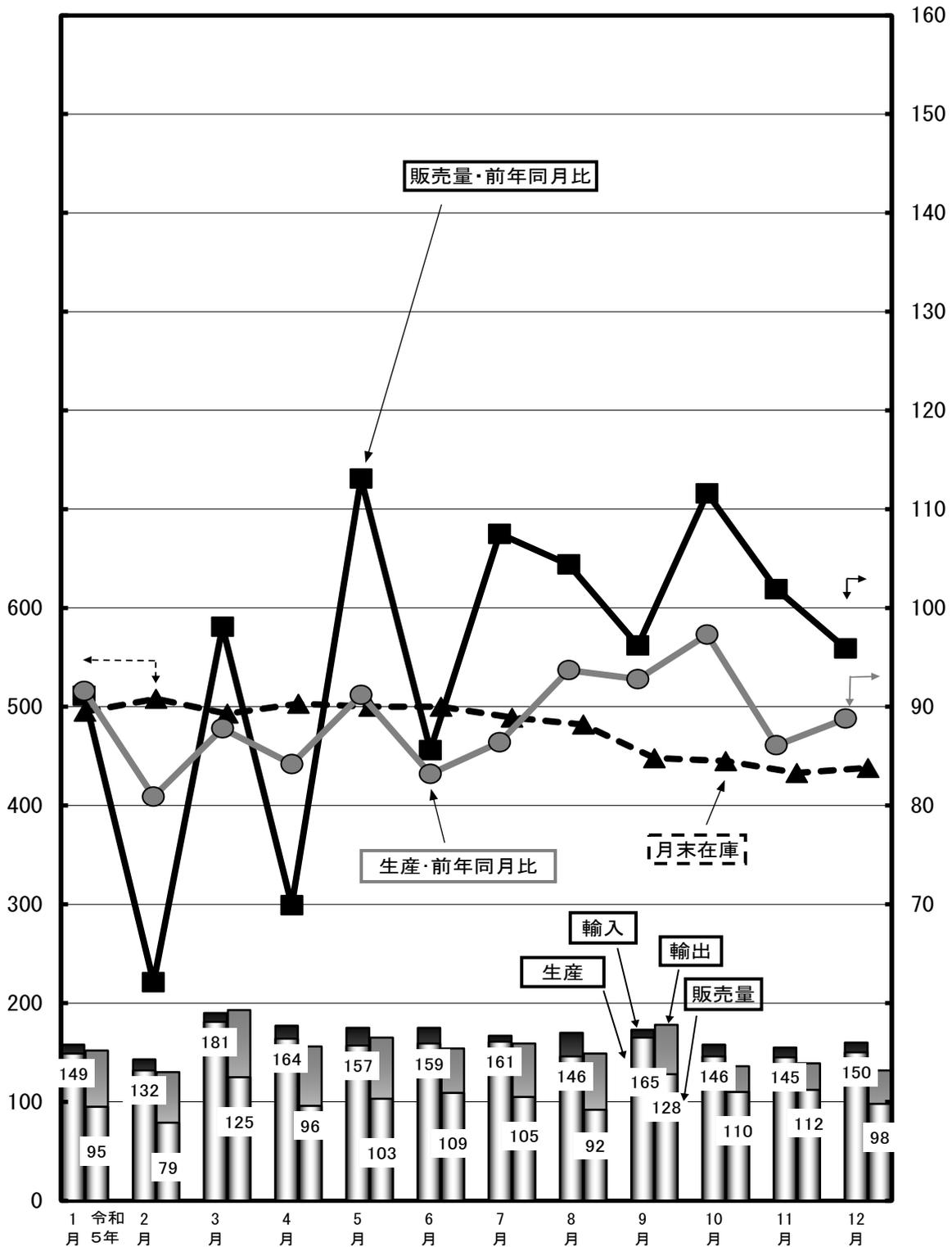
◇経済産業省ホームページ

ホーム > ニュースリリース > ニュースリリースアーカイブ > 2023 年度 1 月一覧 > 2023 年経済産業省企業活動基本調査（2022 年度実績）の結果（速報）を取りまとめました

<https://www.meti.go.jp/press/2023/01/20240130003/20240130003.html>

潤滑油需給統計

12月の生産量は150千kLで前年同月比で11.2%下回り、販売量は98千kLで4.1%下回った。
 (千kL) (％)



出典：経済産業省 資源・エネルギー統計月報（注：棒グラフ上段の数字は生産量、下段の数字は販売量）

潤滑油需給統計（時系列表）

（単位：kL）

年 月	生産	輸入	国内向販売	輸出	在庫	販売部門	
						生産部門	（製造業者・輸入業者）
令和 3年	2,008,464	270,105	1,469,039	766,211	450,916	168,202	282,714
4	2,537,781	217,626	1,748,819	794,064	488,975	171,799	317,176
5	2,376,452	132,453	1,765,739	590,961	438,412	143,009	295,403
令和 3年度	1,969,259	279,529	1,444,278	723,422	445,765	162,812	282,953
4	2,597,144	184,058	1,811,340	765,879	492,952	176,856	316,096
令和 4年10～12月	624,225	50,854	438,821	170,536	488,975	171,799	317,176
令和 5年 1～3	592,186	29,682	421,702	175,702	492,952	176,856	316,096
4～6	614,502	47,385	434,863	167,338	499,524	169,182	330,342
7～9	604,909	22,902	457,248	160,930	447,822	158,715	289,107
10～12	564,855	32,484	451,926	86,991	438,412	143,009	295,403
令和4年10月	191,590	23,751	138,647	44,347	482,634	170,500	312,134
11月	216,166	4,355	155,356	58,286	475,186	172,593	302,593
12月	216,469	22,748	144,818	67,903	488,975	171,799	317,176
令和5年 1月	191,055	9,316	133,861	56,591	495,378	176,294	319,084
2月	169,291	11,138	111,559	51,381	507,739	188,705	319,034
3月	231,840	9,228	176,282	67,730	492,952	176,856	316,096
4月	210,057	13,028	135,279	59,790	502,920	180,905	322,015
5月	201,108	18,103	145,784	62,228	499,903	176,975	322,928
6月	203,337	16,254	153,800	45,320	499,524	169,182	330,342
7月	206,158	6,048	147,989	54,321	489,193	164,805	324,388
8月	187,265	8,539	129,043	56,944	481,643	173,816	307,827
9月	211,486	8,315	180,216	49,665	447,822	158,715	289,107
10月	186,360	12,450	154,703	26,025	445,201	149,802	295,399
11月	186,224	10,479	158,366	27,079	432,845	139,975	292,870
12月	192,271	9,555	138,857	33,887	438,412	143,009	295,403
前年同月比 (%)	88.8	42.0	95.9	49.9	89.7	83.2	93.1

※「国内向販売」は調査対象が調査対象以外（消費、卸売又は小売事業所）へ販売した数量（理論値）を示す。

※令和 4 年 4 月分より潤滑油の集計方法の改訂が行われました。詳細は JALOS ニュース No.337 をご覧ください。

製造業者・輸入業者の消費者・販売業者向販売、在庫内訳

（単位：kl）

区 分	消費者・販売業者向販売	（前年同月比 %）	在 庫	（前年同月比 %）
潤滑油計(R05年12月)	175,944	(98.3)	295,403	(93.1)
ガソリンエンジン油	27,662	(84.4)	26,191	(84.6)
ディーゼルエンジン油	15,257	(88.9)	13,363	(93.8)
その他 車両用	17,188	(101.8)	24,713	(109.2)
船舶用エンジン油	9,400	(106.0)	9,046	(67.3)
機 械 油	22,624	(84.6)	24,440	(100.1)
金 属 加 工 油	11,872	(96.6)	14,923	(104.4)
電 気 絶 縁 油	5,332	(114.4)	3,834	(88.7)
その他特定用途向け	39,141	(98.5)	103,583	(85.8)
その他	27,468	(138.9)	75,310	(104.5)

出典：経済産業省 資源・エネルギー統計月報

お知らせ

○障害者差別解消法に基づく経産省対応指針改正について

この度、資源エネルギー庁燃料供給基盤整備課より標記の件についての周知依頼がありましたので、お知らせいたします。

経済産業省では、障害を理由とする差別の解消の推進に向けて、本年 4 月 1 日（月）に施行される改正障害者差別解消法※1 を踏まえ、「経済産業省所管事業分野における対応指針※2」を改正したとこのことです。改正の具体的な内容等については、下記をご参照ください。

※1 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の一部を改正する法律（令和 3 年法律第 56 号）

※2 経済産業省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針（以下、対応指針という）

1. 主な改正内容

主な改正内容は、以下の 2 点です。

- (1) 「合理的配慮の提供」の義務化や「合理的配慮の提供」のための「建設的対話」の考え方等を追記
- (2) 経済産業省所管事業分野における「障害を理由とする不当な差別的取扱い及び合理的配慮等の例」の追加

改正後の対応指針は、経済産業省ウェブサイトからご覧ください。

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/shougai/>

2. スケジュール

令和 5 年 12 月 22 日（金曜日）対応指針の公表

令和 6 年 4 月 1 日（月曜日）改正障害者差別解消法の施行

※ 改正後の対応指針については改正障害者差別解消法施行日より適用となります。

参考資料

●障害者差別解消法 広報資料（内閣府）

1. リーフレット「令和 6 年 4 月 1 日から合理的配慮の提供が義務化されます！」

https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai_leaflet-r05.html

2. チラシ「障害者差別解消法が改正に 事業者にも合理的配慮の提供が義務化されます」

https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai_chirashi-r05.html

●障害者差別に関する相談窓口「つなぐ窓口」

内閣府において、障害者差別解消法に関する質問や相談について適切な相談窓口に円滑につながるために「つなぐ窓口」が設置されています。（令和 5 年 10 月 16 日～令和 7 年 3 月下旬まで）

https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai_tsunagu.html

- 「障害者差別解消法【①合理的配慮の提供等事例集】及び【②事例データベース】」

①<https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/jirei/example.html>

②<https://jireidb.shougaisha-sabetukaishou.go.jp/>

- 障害者政策関連ページ（経済産業省 HP）：<https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/shougai/>

- 内閣府障害者施策担当 HP：<https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai.html>

【 DVD の貸出しを行っています 】

当協会は、潤滑油の世界を視覚的に捉えていただくために DVD の貸出しも行っていきます。

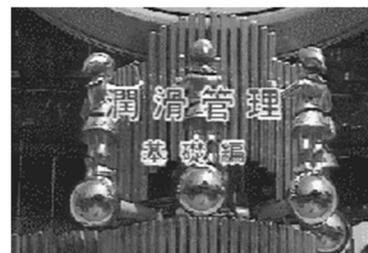
潤滑管理シリーズ（約 25 分／本）

No.1 潤滑管理・基礎編、No.2 潤滑管理・実践編、No.3 軸受の潤滑管理、
No.4 歯車の潤滑管理、No.5 油圧装置の潤滑管理、No.6 圧縮機の潤滑管理、
No.7 切削加工の潤滑管理、No.8 油分析による管理手法・基礎編、
No.9 油分析による管理手法・実践編

潤滑油役割りシリーズ（約 25 分／本）

No.1 広がる潤滑油剤の働き、No.2 人に優しく地球にやさしく
ご要望がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

〒273-0015 千葉県船橋市日の出二丁目 16 番 1 号
一般社団法人潤滑油協会 技術センター 技術相談室
TEL 047-433-5181 FAX 047-431-9579
URL <https://www.jalos.or.jp/>



協会の動き

○2023 年度 保安防災研修会

1 月 24 日（水）に開催。内容は前掲。

○JALOS 技術講習会「初級コース・潤滑油添加剤」

1 月 25 日（木）に開催。内容は前掲。

○潤滑油サプライチェーンにおける潤滑油含有化学物質の適切な情報伝達に関する研修会

1 月 25 日（木）に開催。内容は前掲。

○ISO・JIS 試験法分科会に参画

1 月 26 日（金）に開催された、石油連盟主催による「ISO・JIS 試験法分科会」に参画し、ISO・JIS 原案について審議しました。

○第 4 回 自動変速機油分科会（ハイブリッド会議）に参画

1 月 29 日（月）に開催された、公益社団法人自動車技術会主催による「第 4 回 自動変速機油分科会」に参画しました。

○JASO 運用マニュアル改正 TF（ハイブリッド会議）に参画

1月30日（火）、31日（水）に石油連盟および一般社団法人 日本自動車工業会による「JASO 運用マニュアル改正 TF」に参画しました。

○JASO 電動パワートレイン油 TF（ハイブリッド会議）に参画

2月6日（火）に石油連盟および一般社団法人 日本自動車工業会による「JASO 電動パワートレイン油 TF」に参画しました。

○2023年度 JIS・国際標準化分科会

2月14日（水）に航空会館において、2023年度 JIS・国際標準化分科会（分科会長：三和化成工業株式会社 和川 紀之 氏）を開催しました。議事内容は次のとおりです。

- (1) 各規格定期見直しについて
- (2) 意見交換
- (3) 今後の活動について
- (4) その他

○第3回 技術分科会

2月19日（月）に航空会館において、第3回 技術分科会（分科会長：三和化成工業株式会社 滝島 克巳 氏）を開催しました。審議内容は以下のとおりです。

- (1) 2023年度事業報告について
- (2) 2024年度事業計画について
- (3) その他

○JALOS 技術講習会「初級コース・工業用潤滑剤」

2月19日（月）、20日（火）に開催。内容は前掲。

○油脂技術分科会（Web 会議）にオブザーバー参加

2月20日（火）に開催された、一般社団法人 日本農業機械工業会主催による「油脂技術分科会」にオブザーバーとして参加しました。

○第21回 工作機械のトライボロジー研究会に参加

2月21日（水）に、一般社団法人 日本トライボロジー学会 工作機械のトライボロジー研究会主催による「第21回 工作機械のトライボロジー研究会」に参加しました。

今後の予定

○安全衛生研究会

2月26日 Web 開催

○企画委員会・精製元売部会・専門部会 合同会議

3月21日 航空会館

○理事会

3月22日 アルカディア市ヶ谷

禁無断転載

発行日 2024年2月22日

発行所 一般社団法人 潤滑油協会

〒273-0015

千葉県船橋市日の出二丁目16番1号

TEL 047-433-5181（代表）

FAX 047-431-9579

印刷所 株式会社みつわ